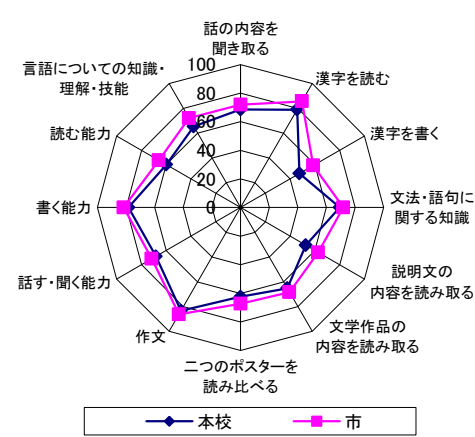


宇都宮市立国本中学校 第1学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話の内容を聞き取る	68.6	71.9
	漢字を読む	79.0	85.7
	漢字を書く	47.5	58.7
	文法・語句に関する知識	69.2	71.7
	説明文の内容を読み取る	52.7	62.6
	文学作品の内容を読み取る	65.2	68.3
	二つのポスターを読み比べる	62.4	67.2
	作文	83.5	86.2
観点別	話す・聞く能力	68.3	71.7
	書く能力	78.3	81.8
	読む能力	59.9	65.9
	言語についての知識・理解・技能	65.4	72.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話の内容を聞き取る	市の平均から3.3ポイント下回っている。 話の内容を正確に聞き取る問題は市の平均解答率を上回っているが、目的や意図に応じて、自分の考えを的確に話す問題については大きく平均を下回った。	相手意識をもち、自分の意見を正確に伝えられるように、スピーチの機会を増やしていく。
漢字	漢字を読む問題は市の平均から6.7ポイント下回っている。特に、「存続」(ソソク)の正答率は24.7ポイントと大幅に下回った。 漢字を書く問題は市の平均から11.7ポイント下回った。出題された漢字で全て平均を下回ったが、特に「もうける」(設ける)は正答率が24.6ポイントだった。	これまでも練習やテストを通して漢字の学習を行ってきたが、なかなか定着していないことが分かった。単純な反復練習だけでなく、文章の中で読めたり、書けたりするように工夫していく。
文法・語句に関する知識	市の平均を2.5ポイント下回った。 特に、単語や故事成語についての問題は正答率が低くなっている。部首についての問題は、市の正答率を上回った。	単元のみで扱うのではなく、文章中で学習した内容を確かめられるように、継続的に文法や語句については確認していく。
説明文の内容を読み取る	市の平均を9.9ポイント下回った。 設問ごとに見ても全ての問題で市の正答率を下回っている。特に、文章の構成を捉え、それを整理してまとめる問題は13.5ポイントと大きく下回った。	説明的文章の構成を捉えて、文章を読み解く授業を行う。その際に、接続詞や指示語に注目するとで構成を理解することができるというような論理的文章の「読み方」を教えていく。
文学作品の内容を読み取る	市の平均を3.1ポイント下回った。 特に、登場人物の心情を理解する問題は市の平均を大きく下回った。	登場人物の心情を理解するためにはまず人物像の把握が必要である。その上で、心情の変化が起きる出来事に注目させ、本文の中から心情描写や表現を見つける学習活動を取り入れて、正確に読む力を育てていく。
二つのポスターを読み比べる	市の平均を4.8ポイント下回った。 特に、ポスターを作る際の工夫を捉える問題では、市の平均よりも7ポイント下回った。	必要な情報を適切に選んで、選択肢の文を吟味する練習をしていく。
作文	市の平均を2.7ポイント下回った。 指定された文字数や段落構成といった条件に沿って書くという観点が市の正答率を下回っていた。	条件に沿った作文を書く機会を増やしていく。その際に、字数や段落構成などの注意点をよく読み、理解して書くように伝えていく。また授業の中でお互いの読みあったり、推敲したりする活動を取り入れていく。